

特集

ステークホルダーと 共につくり、磨く教育

大学教育は多くの場合、学内の教員のみでデザインされ、
改善の議論がなされてきた。

ユニバーサル時代には、

アカデミズムの枠組みにとらわれない柔軟な発想を加えながら
教育プログラムを構築する必要性が増す。

ステークホルダーとの開かれた議論と協働は、

その有効な手立てとなるはずだ。

傾聴・議論・協働のプロセスが

コミュニケーションの深化と相互理解という果実ももたらすだろう。

